

事業報告書

《第13期》

(令和7年6月1日～令和8年5月31日)



目 次

はじめに	1
事業体系図	2
事務局組織図	4
第13期事業報告	
住宅まちづくり	5
～快適な都心居住に向けて～	
産業まちづくり	27
～地域産業の振興に向けて～	
協働まちづくり	37
～理解と協力を礎とした魅力あるまちづくりに向けて～	
理事会・評議員会・監査	46

※本実績中の第13期の実績は令和8年5月31日までの数字となります。

はじめに

まちみらい千代田は平成17年(2005年)に設立され、今期で21年目を迎えました。この間、円滑な財団運営に努めてきましたが、これもひとえに財団関係者・関係機関皆さまのご理解とご協力により、執り行われてきたものと認識しています。

さて、当財団を取り巻く環境は大きく様変わりしています。社会経済情勢が目まぐるしく変化する中、令和7年4月からの公益法人改革により、財団の自主性・主体性が問われることとなりました。地域に目を向けると、当財団所在地を計画エリアに含む神田錦町三丁目南部東地区市街地再開発事業計画が具体的な動きを見せはじめ、財団の将来を見据えたあり方を整理することが喫緊の課題となっています。これまでの財団の歩みを振り返り、積み上げてきた成果を踏まえつつ、地域課題や区政ニーズに応えるべく、事業の見直しや業務改善を図ることが肝要であり、中長期的な視点で区との協議を加速させる必要があります。第13期の事業報告にあたっては、前期より各事業について「評価と課題」「今後の方向性」を明示することで、財団がなすべきことを整理し、来期に向けて対応策を講じていきます。

第13期の住宅・産業・協働まちづくりにおける事業運営の概況は以下のとおりです。

住宅まちづくりでは、専門的な知見を持つマンション管理士が常駐する「総合相談窓口」の開設や「まちづくりアドバイザー派遣」などを通じて、マンションの管理適正化や再生を推進してまいりました。また、マンションへの情報発信として、国のマンション管理計画認定制度や当財団の各種助成制度の周知に努め、その成果の一つとして、マンション管理計画認定制度で認定を受けたマンションは15件(累計33件)となり、国の指標(3%)を上回る認定率(約6.5%)となっています。また、マンション安全・安心整備では、区の衛生環境整備事業(ネズミ対策)に対応し、マンション内の廃棄物集積所の修繕費用等を新たに助成対象項目に追加するなど、地域の課題に即した柔軟な支援を展開した結果、所期の目標を達成することができました。

産業まちづくりでは、区内で事業を営む中小企業、とりわけ小さいながらも創意工夫して事業展開する事業者を下支えする取組みに注力してきました。今期で17回目を迎えた千代田ビジネス大賞においても、地域に根差した事業者が特別賞を受賞するなど、ビジネス大賞の裾野を広げることができました。

協働まちづくり事業では、地域の草の根活動を支援する「千代田まちづくりサポート」事業の充実に努めてきました。また、デジタル時代の到来を踏まえ、当財団の広報戦略に基づき「NEWSまちみらい」を廃刊して、デジタルによる広報(ウェブサイト、SNS)に軸足を移しました。さらに今期は、区と連携して祭礼文化が持つ地域コミュニティとしての価値や文化的な価値などを深掘りする調査研究を行いました。

当財団は、変化の激しい時代の転換期の中で第14期も引き続き公益財団法人としての責務を果たすべく、迅速かつ柔軟に事業を展開し、区民ならびに中小事業者の期待に応えてまいります。

公益財団法人 まちみらい千代田

事業体系図

住宅まちづくり ～ 快適な都心居住に向けて ～

「暮らす」をテーマに安全安心で住みやすい居住環境づくりをお手伝いします

1 マンション居住支援

(1) 情報収集・発信

ア 総合相談窓口の設置(拡充).....	6
イ 千代田区マンション管理計画認定窓口の設置.....	7
ウ マンション管理関係図書の貸出し及び活用.....	8
エ 情報紙の発行.....	9
オ 管理会社との連絡会の開催.....	10
カ マンションカルテの更新.....	11

(2) 管理・コミュニティ支援

ア マンションの総会等会場費助成.....	12
イ まちづくりアドバイザーの派遣.....	13
ウ マンション管理講座の開催.....	14
エ 千代田区マンション連絡会の開催.....	15
オ マンションのコミュニティ活性化事業助成.....	16
カ コミュニティ・イベントへの参加.....	17
キ マンション管理組合顧問派遣.....	18

(3) マンション再生支援

ア マンション劣化診断調査費助成.....	19
イ マンション再生方針検討助成.....	20
ウ マンション再生計画検討助成.....	20
エ 分譲マンション共用部修繕工事債務保証料助成.....	21
オ 再開発・共同建築等推進組織に対する助成.....	21

(4) 安全・安心整備支援

ア マンション安全・安心整備助成(拡充).....	23
イ マンション防災計画等の策定支援.....	25
ウ 防災用品等準備助成.....	26

産業まちづくり ～ 地域産業の振興に向けて ～

「働く」をテーマに企業を活性化し地域社会との良好な関係づくりをお手伝いします

1	中小企業支援		
	(1)経営支援		
	ア マネジメント・サポートデスクの実施	28	
	イ 専門家派遣等によるサポート	29	
	ウ 会議室の提供	30	
	エ ビジネス法律相談	31	
	オ DX(ICT)導入・活用相談	32	
	(2)活性化成長支援		
	ア 千代田ビジネス大賞の実施	33	
	イ インキュベーション施設活動支援	34	
2	起業支援		
	ア ビジネス起業塾の開催	35	
3	地方との連携		
	ア ちよだ地方連携ネットワーク事業の支援	36	

協働まちづくり ～ 理解と協力を礎とした魅力あるまちづくりに向けて ～

「集う」をテーマに皆で取組む魅力のあるまちづくりをお手伝いします

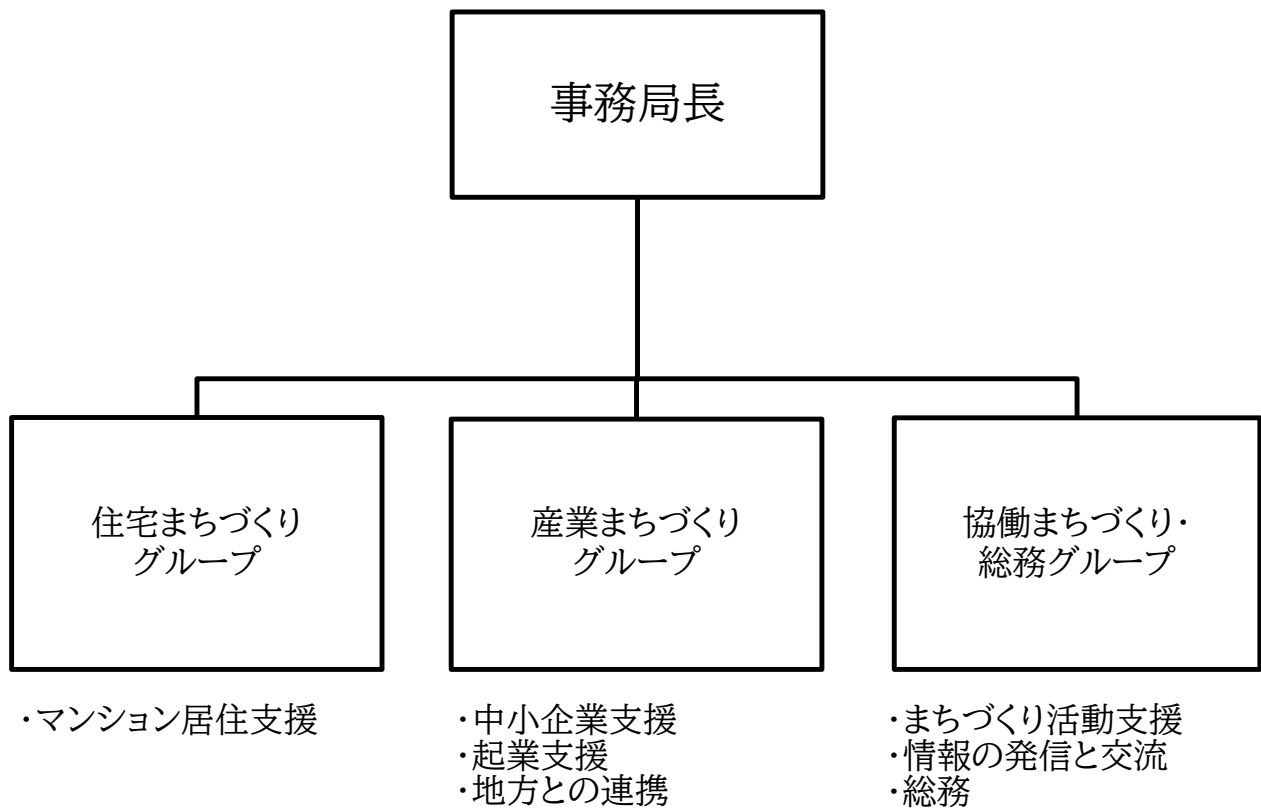
1	まちづくり活動支援		
	ア 千代田まちづくりサポートの実施(独自)	38	
	イ 区の花さくら再生基金の管理	39	
2	情報の発信と交流		
	ア 「ニュースまちみらい」の発信	40	
	イ 事業報告・交流会の実施	41	
	ウ まちみらい千代田ウェブサイトの運用	42	

管理運営

1	事務局人件費		43
2	事務局の維持管理		44
3	コミュニティ(祭礼文化)調査研究(新規)		45

公益財団法人まちみらい千代田

事務局組織図



住宅まちづくり

～ 快適な都心居住に向けて ～

千代田区の地域特性として9割近くの区民が共同住宅(マンション居住)で暮らしています。一方で高経年マンションなどの増加とともに、安全・安心な居住環境づくりへの課題は複雑多様化しています。

マンションの管理適正化と再生は、資産価値の維持(適正な維持修繕の実施)と良好な住環境(快適なコミュニティの維持、安全・安心な暮らし)の確保に直結する重要な課題です。老朽化や居住者の高齢化が進む中、適切な維持管理を怠れば、生活環境の悪化や資産価値の低下を招く要因となります。

この課題解決の基盤となる「マンション関連法(令和8年4月施行)」と「標準管理規約(令和7年10月改正)」の改正が行われました。

これを踏まえて、都市型マンションにおける中長期的な価値担保のため、ハード・ソフト両面を網羅した総合的な取り組みが求められます。マンションの維持管理、防災・減災対策、地域社会とのコミュニティ連携を一体化した施策を展開することにより、単一物件の枠を超えた千代田区全体のブランド力低下を防ぎます。

また、変化する市場環境の中でも高いレジリエンスを発揮し、都心居住としてのステータスと経済的優位性を維持する先進的なモデルケースを目指します。

1 マンション居住支援

(1)情報収集・発信

ア 総合相談窓口の設置(拡充)

事業内容	マンションに関するさまざまな相談を、窓口・電話・電子メールなどで受け付け、的確なアドバイスを行うため、専門的知識を有するマンション管理士を常駐配置します。さらに、マンションに関する国や東京都、関係団体等の動向、マンションの抱えるさまざまな課題等について、指導・助言を行う顧問を配置しています。		
	実施時期	通年予定 平日の午前9時から午後5時まで対応 (マンション管理士は午前10時から午後4時まで)	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	9,471 千円	7,618,515 円	80.4%
	(主な経費) ○マンション管理士による相談業務 @19,800×年間303コマ=5,999,400 円 ○顧問報酬 @132,000×12 か月=1,584,000 円		
事業実績	事業目標	実績	達成率
	予定相談件数300件	265 件	88.3%
近年の実績	相談実績	第 11 期	第 12 期
		326 件	225 件
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	第 13 期 265 件		
	【評価と課題】 専門的知見を持つマンション管理士が、相談内容に公平・中立な立場からの的確なアドバイスを行いました。近年は再生にかかる相談内容が増加傾向にあることから、マンション管理士や職員は、改正されたマンション関係法の理解をさらに深めることが重要になります。なお、「アウトリーチ型の支援(相談)」では、訪問調査後に一定の支援メニューの申請につながったものの、訪問方法などについて引き続き区と協議します。 【今後の方向性(課題解決策)】 相談窓口の認知度の向上に向けて、引き続きチラシの配付や SNS での周知を図ります。また、「アウトリーチ型の支援(相談)」を継続し、区とマンション管理組合に対して能動的にアプローチを行うことで、マンションの維持管理・再生支援を進めます。		

イ 千代田区マンション管理計画認定窓口の設置

事業内容	千代田区では令和5年4月1日からマンション管理計画認定制度の認定を開始しています。千代田区の特徴は、他の自治体と異なり事前審査等は必要がなく、直接、窓口のまちみらい千代田へ申請し審査を受けることができます。申請の相談から申請の受付、審査までワンストップで実施します。			
	実施時期	通年		
事業費	予算現額	決算額		執行率
	361 千円	106,000 円		29.4%
	(主な経費) ○講師謝金 100,000 円			
事業実績	事業目標		実績	達成率
	認定申請件数 年間 10 件		15 件	150%
	認定制度説明会 年間 1 件以上		1 件	100%
近年の実績	認定申請件数	第 11 期	第 12 期	第 13 期
		4件	12 件	15 件
	認定制度説明会	第 11 期	第 12 期	第 13 期
		1 件	2 件	1 件
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 「指定認定事務支援法人」として、区と連携しながら適正な審査を行いました。引き続き、認定のメリットを多くのマンション管理組合へ周知することで、制度のさらなる普及を図っていくことが課題です。			
	【今後の方向性(課題解決策)】 国が示す認定のメリット(「マンション管理の適正化」や「マンション市場における適切な評価」など)だけではなく、千代田区の「効率的なワンストップ申請」や「支援制度における助成上限の引き上げ(一部)」なども併せて周知します。また、マンション関係法の改正を踏まえたパンフレットの改訂を行います。			

ウ マンション管理関係図書の貸出し及び活用

事業内容	マンションの管理等に関する書籍を購入し、マンション管理組合の役員や総合相談窓口に来られた相談者等に対して、必要に応じて書籍を無料で貸出します。 また、総合相談窓口や電話やメールでの相談等にも活用します。			
	実施時期	通年		
事業費	予算現額	決算額	執行率	
	30 千円	27,587 円	92.0%	
	(主な経費) ○書籍購入費 27,587 円			
事業実績	事業目標	実績	達成率	
	新規蔵書数 10 冊	8 冊	80%	
近年の実績	新規蔵書数	第 11 期	第 12 期	第 13 期
		12 冊	26 冊	8 冊
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 蔵書数は充実していますが、貸し出しや相談窓口等での活用は限定的です。 この改善には事業の認知度向上が必要不可欠です。			
	【今後の方向性(課題解決策)】 ウェブサイトや SNS などのオンラインプラットフォームを運用して周知を図るとともに、広報紙「マンションサポートちよだ」などで図書の紹介を行います。			

エ 情報紙の発行

事業内容	① マンションサポートちよだ マンションの維持管理やマンション生活に役立つ情報を情報紙としてとりまとめ、年3回分譲マンション管理組合、居住者、関係機関等へ配付します。			
	② マンションサポートちよだ mini マンションに関するトピックスや、国、東京都のマンション施策の動向などタイムリーな情報を毎月、分譲マンション約500棟へ配付します。			
事業費	③ マンションへの情報提供郵送物封入・封緘業務委託料 区コミュニティ総務課と連携し、区やまちみらい千代田、関係団体等からの情報を取りまとめ、毎月、マンション管理組合へ配付します。			
	実施時期	通年		
	予算現額	決算額	執行率	
	7,178千円	7,069,250円	98.5%	
事業実績	(主な経費) ○マンションサポートちよだ等の作成業務、郵送物封入・封緘業務 6,252,165円 ○マンション管理組合への郵送料 817,085円			
	事業目標	実績	達成率	
	①マンションサポートちよだ 配布部数 7,000部/回	約7,000部/回※	100%	
	②マンションサポートちよだ mini 配布部数 500部/月	約500部/月※	100%	
※部数は変動することがあるため概数				
近年の実績	配布部数	第11期	第12期	第13期
	マンションサポートちよだ	7,000部	7,000部	7,000部
	マンションサポートちよだ mini	500部	500部	500部
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 まちみらい千代田や千代田区などの施策を、区内分譲マンション等へ一元的に情報提供しています。なお、紙媒体だけを用いた情報提供には限界があるため、引き続きデジタル媒体も併せて活用していく必要があります。			
	【今後の方向性(課題解決策)】 紙媒体とデジタル媒体を併用して、認知度を高めるとともに、より多くの人に情報提供を行います。また、紙面には興味関心の高いと考えられる社会動向も掲載します。			

オ 管理会社との連絡会の開催

事業内容	管理会社との情報交換は、同社が受託するマンション管理組合との接点となり得る貴重な機会となります。管理会社と顔の見える関係を築くため、区内の分譲マンションを管理している管理会社の担当者等に対して、千代田区やまちみらい千代田から情報提供を行います。			
	実施時期	7月～10月		
事業費	予算現額	決算額		執行率
	83,008円	0円		0%
	(主な経費) ○「イ 千代田区マンション管理計画認定窓口の設置」から講師謝金を支出			
事業実績	事業目標		実績	
	出席会社数 30社		5社	
			達成率	
近年の実績			第11期	
	出席会社数		第12期	
	5社		第13期	
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】			
	出席した管理会社の担当者に対して「管理計画認定制度申請に関する留意点」と「区分所有法・標準管理規約改正に伴う管理規約の改正の留意点」の説明を行いました。合計55名に開催案内を送付したものの、時間的制約などが主な要因となり、参加は少数にとどまりました。また、管理会社の担当者は異動も多いことから、固定の集客は難しい状況です。			
	【今後の方向性(課題解決策)】			
	マンション相談や支援制度の申請代行を行った管理会社の担当者に対して、積極的に参加を促します。また、担当者個人にとどまらず、社内全体への周知に向けた協力を依頼します。			

カ マンションカルテの更新

事業内容	マンションからの電話相談、窓口相談、アドバイザー派遣時の基礎資料として活用するために、過去の調査データをデータベース化したマンションカルテを整備し、常に最新の状態に更新します。			
	実施時期	通年		
事業費	予算現額	決算額	執行率	
	511,992 円	511,992 円	100%	
	(主な経費) ○マンションカルテ保守料 498,000 円			
事業実績	事業目標	実績	達成率	
	データ更新頻度 随時	随時	100%	
近年の実績	データ更新回数累計	第 11 期	第 12 期	第 13 期
		12 回以上	12 回	随時
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 期中にマンションカルテのセキュリティ強化を目的に、構築事業者と保守契約を締結しました。これによりシステムの安定的な稼働が実現しています。また、同カルテによるマンション支援制度実績の一元管理による業務効率化に寄与しており、さらに、条件設定による必要な情報の即時抽出機能も有効に機能しています。			
	【今後の方向性(課題解決策)】 マンションカルテは第 14 期においても、マンション施策の実施に向けて有効に活用します。また、必要に応じて機能改修を行い、さらなる業務の効率化を図ります。			

1 マンション居住支援

(2)管理・コミュニティ支援

ア マンションの総会等会場費助成

事業内容	マンション管理組合の通常総会等(臨時を含む)を開催する際の会場費の一部を助成します。また、ウェブ会議ツールの使用料も助成対象経費としています。 (助成内容) ①マンション防災計画策定済み＋会場使用 助成上限額 6,000 円(3回の上限 18,000 円) ②マンション防災計画策定済み＋ウェブ使用 助成上限額 9,000 円(1回) ③マンション防災計画未策定＋会場使用 助成上限額 3,000 円(3回の上限 9,000 円) ④マンション防災計画未策定＋ウェブ使用 助成上限額 4,500 円(1回)			
	実施時期	通年		
事業費	予算現額	決算額	執行率	
	83 千円	48,198 円	58.1%	
	(主な経費) ○助成金 48,198 円			
事業実績	事業目標	実績	達成率	
	①②のマンション管理組合 10 組合予定※防災計画あり	9 組合	90%	
	③④のマンション管理組合 3組合予定※防災計画なし	4 組合	133.3%	
近年の実績		第 11 期	第 12 期	第 13 期
	①のマンション管理組合	7 組合	9 組合	8 組合
	②のマンション管理組合	－	1 組合	1 組合
	③のマンション管理組合	0組合	1 組合	4 組合
	④のマンション管理組合	－	0 組合	0 組合
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 本制度の助成金額は少額ですが、集会室等がないマンションの支援策として有効です。申請件数を増やすためには、本制度のさらなる周知が必要です。			
	【今後の方向性(課題解決策)】 近年、申請実績のないマンション管理組合からの問い合わせが増加傾向にあります。当該管理組合の負担軽減の一助となるよう、さらなる周知を図ることで、申請件数の増加を目指します。			

イ まちづくりアドバイザーの派遣

事業内容	マンションの維持管理、修繕や建替え、マンション管理組合の運営といったマンションに関するさまざまな課題の解決や、共同建築や再開発の初動期における活動に対して、アドバイザーを派遣します(1団体、年間6回まで派遣可能)。 登録しているアドバイザーには、一級建築士、マンション管理士、再開発プランナーなどの資格を持つ専門家がいます。		
	実施時期	通年 (アドバイザー派遣の受付は随時行っていますが、実際の派遣は派遣日時・派遣場所・派遣するアドバイザーの調整を行った後になります。)	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	540 千円	180,000 円	33.3%
	(主な経費) ○アドバイザーへの謝金 180,000 円		
事業実績	事業目標	実績	達成率
	予定派遣件数 18件	8 件	44.4%
近年の実績	派遣件数	第 11 期	第 12 期
		7 件	5 件
			第 13 期
			8 件
実績を踏まえた評価・課題 今後の方向性	【評価と課題】 課題を抱えるマンションに対して適切なアドバイスを提供することで、その解決の一助となっています。一方で、潜在的な需要がありながらも、事業実績は伸び悩んでいるのが現状です。 【今後の方向性(課題解決策)】 相談業務等を介しての申請が多いことから、その機会を通じて事業を周知し、申請件数の増加を図ります。なお、第 13 期での申請の多くは、マンション再生にかかる内容でした。継続的な派遣申請を行うマンション管理組合等が増加傾向にあることから、アドバイザーと派遣内容について情報共有を行い、良好な手法によるマンション再生と良好なマンションストックの形成へつなげます。		

ウ マンション管理講座の開催

事業内容	マンション管理組合の役員や、マンション居住者等を対象にマンション管理に関する講座を年間4回開催します。		
	実施時期	7月から5月	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	319 千円	120,000 円	37.6%
	(主な経費) ○講師謝金 120,000 円		
事業実績	事業目標	実績	達成率
	参加者数 延べ 80 名	延べ 73 名	91.3%
	アーカイブ動画視聴件数 延べ 10 件	4 件	40%
近年の実績	第 11 期		
	第1回	マンションの水害対策	9 名
	第2回	大規模修繕に向けた資金計画	17 名
	第3回	修繕積立金の値上げの進め方	10 名
	第4回	どうする？ 給排水設備	21 名
	第 12 期		
	第1回	今、脚光を浴びる「第三者管理者方式」を考える	16 名
	第2回	どうする旧耐震マンション～旧耐震マンションの再生について考える～	19 名
	第3回	給排水設備の基礎知識と配管更新工事の進め方	24 名
	第4回	長期修繕計画の作成手順と読み方	19 名
	第 13 期		
	第1回	区分所有法の改正点と管理・運営の現場への影響 権	21 名
	第2回	区分所有法改正を受けて管理規約はどうする？	19 名
	第3回	区分所有法改正を受けてマンション再生はどうなるのか	15 名
	第4回	マンション管理関係の法制度と標準管理規約の大幅改正	18 名
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 第 13 期では「マンション関係法の改正」について講座を開催しました。アンケート結果では、多岐に渡る同法改正への理解を深められたとする回答が大半を占めました。このことから、参加者ニーズに即した講座を開催できたと推測されます。一方で、アーカイブ動画の視聴件数は伸び悩んでいます。		
	【今後の方向性(課題解決策)】 第 14 期でも、これまでのアンケート結果や社会動向を踏まえたテーマを設定します。また、アーカイブ動画視聴件数を増やすために、広報紙「マンションサポートちよだ」や SNS での周知徹底を図ります。		

エ 千代田区マンション連絡会の開催

事業内容	まちみらい千代田や千代田区からの情報提供のほか、会員間の情報交換を行います。会員は、区内マンション管理組合理事長、もしくは理事会等が承認した所有者、居住者となります。													
	実施時期	通年(年6回偶数月)												
事業費	予算現額	決算額	執行率											
	562 千円	379,249 円	67.5%											
	(主な経費) ○会場使用料 178,000 円 ○会員への郵送料 174,875 円													
事業実績	<table><tr><td>開催日/参加人数</td><td colspan="2">主な内容</td></tr><tr><td>6 月 28 日(土)/25 名</td><td colspan="2" rowspan="6">千代田区等からの情報提 会員間の意見・情報交換</td></tr><tr><td>8 月 30 日(土)/24 名</td></tr><tr><td>10 月 25 日(土)/26 名</td></tr><tr><td>12 月 21 日(土)/21 名</td></tr><tr><td>2 月 28 日(土)/22 名</td></tr><tr><td>4 月 25 日(土)/22 名</td></tr></table>			開催日/参加人数	主な内容		6 月 28 日(土)/25 名	千代田区等からの情報提 会員間の意見・情報交換		8 月 30 日(土)/24 名	10 月 25 日(土)/26 名	12 月 21 日(土)/21 名	2 月 28 日(土)/22 名	4 月 25 日(土)/22 名
	開催日/参加人数	主な内容												
	6 月 28 日(土)/25 名	千代田区等からの情報提 会員間の意見・情報交換												
	8 月 30 日(土)/24 名													
	10 月 25 日(土)/26 名													
	12 月 21 日(土)/21 名													
	2 月 28 日(土)/22 名													
4 月 25 日(土)/22 名														
<table><tr><td>事業目標</td><td>実績</td><td>達成率</td></tr><tr><td>予定延べ参加者数 200 名</td><td>140 名</td><td>70%</td></tr></table>			事業目標	実績	達成率	予定延べ参加者数 200 名	140 名	70%						
事業目標	実績	達成率												
予定延べ参加者数 200 名	140 名	70%												
近年の実績	参加者数	第 11 期	第 12 期											
		128 名	129 名											
			140 名											
※現在の会員数＝113 棟(分譲マンション数 509 棟)														
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 会員同士が課題を共有し、解決の糸口を探る事例紹介は、参加者から有益との高い評価を得ています。今後、さらに多くの会員が参加した場合、時間的な制約などから発言機会が限られる恐れがあります。そのため、事前の調整・当日の進行が課題となります。													
	【今後の方向性(課題解決策)】 会員からの要望等を踏まえ、今後の開催内容の調整を図ります。また、会員に向けて開催概要等を記載した記録メモを送付することで、同会への理解や関心を深める機運を醸成し、より多くの会員の参加を促します。													

オ マンションのコミュニティ活性化事業助成

事業内容	マンションの維持管理や防災対策、マンション管理組合活動などを円滑に進めるため、その前提となるコミュニティ形成に関する活動を支援します。 (助成内容) 対象経費の2分の1を助成				
	実施時期		通年		
事業費	予算現額		決算額		執行率
	960 千円		263,000 円		27.4%
	(主な経費)○助成金 263,000 円				
事業実績			目標	実績	
	住戸数 100 戸未満のマンション (マンション内に限定して開催)		8件 助成上限額 4 万円※	1 件	
	住戸数 100 戸未満のマンション (周辺地域の住民も参加できる事業)			0 件	
	住戸数 100 戸以上のマンション (マンション内に限定して開催)		4 件 助成上限額 5 万円※	3 件	
	住戸数 100 戸以上のマンション (周辺地域の住民も参加できる事業)			0 件	
	住戸数 200 戸以上のマンション (マンション内に限定して開催)		4 件 助成上限額 7 万円※	2 件	
	住戸数 200 戸以上のマンション (周辺地域の住民も参加できる事業)			0 件	
※ 周辺地域の住民も参加できる事業の場合は上限額1万円増額					
近年の実績			第 11 期	第 12 期	第 13 期
	住戸数 100 戸未満のマンション (マンション内に限定して開催)		0 件	1 件	1 件
	住戸数 100 戸未満のマンション (周辺地域の住民も参加できる事業)		0 件	0 件	0 件
	住戸数 100 戸以上のマンション (マンション内に限定して開催)		2 件	0 件	3 件
	住戸数 100 戸以上のマンション (周辺地域の住民も参加できる事業)		2 件	3 件	0 件
	住戸数 200 戸以上のマンション (マンション内に限定して開催)		4 件	3 件	2 件
	住戸数 200 戸以上のマンション (周辺地域の住民も参加できる事業)		0 件	0 件	0 件
実績を踏まえた評価・課題、 今後の方向性	【評価と課題】 本助成制度の活用事例を「マンションサポートちよだ」に特集記事として掲載し、コミュニティ形成の重要性を伝えました。この取り組みにより、新たに2つのマンション管理組合から申請がありました。一方で、事業実績は横ばいであり、その中でも周辺住民の参加は進んでいません。				
	【今後の方向性(課題解決策)】 マンション内コミュニティ形成の一助となるよう、さまざまな機会を通じて本制度の周知に努めます。また、こうした取り組みは、マンションの適正な維持管理や運営への影響が大きいことから、より一層の事業推進を図ります。				

カ コミュニティ・イベントへの参加

事業内容	区などが主催する「福祉まつり」や「くらしの広場」に参加し、まちみらい千代田が取り組むマンション施策の紹介やマンション関連資料(「上下二軒両隣 ～共同生活知恵袋」「防災マニュアル～災害から身を守るために～」)を配布します。 なお、町会等が実施する地域のイベントにまちみらい千代田のブースを設けて参加します。また、イベント実施時に機材を無料で貸し出します。		
	実施時期	① 福祉まつり 10月頃 ② くらしの広場 11月頃	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	68千円	9,570円	14.1%
	(主な経費) ○ポケットWi-Fi レンタル料 9,570円		
事業実績	事業目標	実績	達成率
	予定参加回数 4回	3回	75%
近年の実績	参加回数	第11期	第12期
		2回	2回
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性		第13期	第14期
		3回	3回
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 3つのイベント(令和7年度千代田区防災フェスタ、防災救急フェスタ2025、第27回くらしの広場)に出展し、マンション向け防災支援制度などを紹介しました。このうち2つのイベントは、子どもが主たる対象であったため、来場者層に応じた出展内容の検討が必要です。		
	【今後の方向性(課題解決策)】 第14期においても、上記イベントのほか、地域イベントへも出展し、区民等との顔の見える関係の構築を目指します。また、出展ブースでは子ども向けの企画や防災グッズの配付を行い、参加するファミリー層の防災意識向上を図ります。		

キ マンション管理組合顧問派遣

事業内容	高経年マンションの建物再生の検討にあたっては、最初にマンション管理組合運営の適正化、管理規約の整備、長期修繕計画の作成・見直し等を行う必要があります。この初期段階の支援として、顧問を派遣し、マンションの理事会や総会等で助言・指導を行います。		
	実施時期	通年 ※派遣期間は、申請から1年間とし、申請から3か月は随時、派遣顧問の変更は可能ですが、3か月経過後は変更できません。	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	1 千円	0円	0%
	(主な経費) ○科目存置として 1,000 円を計上		
事業実績	事業目標	実績	達成率
	顧問派遣 ー	0 件	0%
近年の実績	顧問派遣	第 11 期	第 12 期
		0 件	0 件
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 今期を含め過去3期は実績がありませんでした。この要因について、管理不全の兆候が見られるマンションが少ないためなのか分析する必要があります。		
	【今後の方向性(課題解決策)】 今後も高経年マンションの維持管理や運営の適正化を図ることで、管理不全の防止や建物の再生に向けて支援していきます。		

1 マンション居住支援

(3)マンション再生支援

ア マンション劣化診断調査費助成

事業内容	マンションの長期修繕計画の作成や大規模修繕工事を行う際には、事前に建物の現状把握に劣化診断調査を行う必要があり、適正な大規模修繕工事を促進するため、その費用の一部を助成します。 (助成内容) 対象経費の3分の2を助成 ① 劣化診断調査のみ(50万円) ② 劣化診断調査と長期修繕計画作成(80万円) 助成上限額 ③ 長期修繕計画作成(30万円) ※調査に要する費用の助成金をすでに交付されている場合に限る ④ 簡易耐震診断(20万円)			
	実施時期	通年		
事業費	予算現額	決算額	執行率	
	5,954,100円	4,063,000円	68.2%	
	(主な経費) ○助成金 4,063,000円			
	①劣化診断調査	2,433,000円		
	②劣化診断調査と長期修繕計画の作成	1,404,000円		
	③長期修繕計画作成	226,000円		
事業実績	事業目標	実績	達成率	
	助成予定件数 10件	9件	90%	
近年の実績		第11期	第12期	第13期
	①劣化診断調査のみ	9件	10件	6件
	②劣化診断調査と長期修繕計画作成	0件	2件	2件
	③長期修繕計画作成	0件	0件	1件
	④簡易耐震診断	0件	0件	0件
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 劣化診断調査費を助成することで、マンション管理適正化の推進が図られ、住環境および地域環境の向上に寄与しました。また、近年は高経年マンションに限らず、1回目の大規模修繕の前に劣化診断調査を行うマンションが増加傾向にあります。こうしたマンション管理組合に対して、管理運営上における精微な長期修繕計画の作成や見直しの重要性について、さらなる周知が必要です。			
	【今後の方向性(課題解決策)】 申請前の相談時に、改めて長期修繕計画の作成・見直しの重要性を周知するとともに、より多くのマンションで住環境の向上につながるように支援します。			

イ マンション再生方針検討助成

事業内容	建設後 30 年以上経過したマンションで、建物再生の方針を検討する際の事前調査費用やコンサルタント費用等の一部を助成します。 (助成内容)対象経費の 2 分の 1 を助成 助成上限額 100 万円(※) ※ 最初の申請から3年間申請でき、3 年間の助成額の合計		
	実施時期	通年	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	3,090,000 円	3,090,000 円	100%
	(主な経費) ○助成金 3,090,000 円		
事業実績	事業目標	実績	達成率
	助成件数 1 件	5 件	500%
近年の実績	助成件数	第 11 期	第 12 期
		2 件	0 件
			第 13 期
			5 件

ウ マンション再生計画検討助成

事業内容	建設後 35 年以上経過したマンションで、マンション単棟の建替え等建物の再生を検討する団体に対して活動費用の一部を助成します。 (助成内容)対象経費の 2 分の 1 を助成 助成上限額 100 万円(※) ※ 最初の申請から3年間申請でき、3 年間の助成額の合計		
	実施時期	通年	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	1,000,000 円	1,000,000 円	100%
	(主な経費) ○助成金 1,000,000 円		
事業実績	事業目標	実績	達成率
	助成件数 -	1 件	-
近年の実績	助成件数	第 11 期	第 12 期
		0 件	0 件
			第 13 期
			1 件

エ 分譲マンション共用部修繕工事債務保証料助成

事業内容	(独法)住宅金融支援機構の共用部分リフォーム融資を受け、(公財)マンション管理センターに債務保証を委託した際に、保証料を助成します。		
	(助成内容)助成上限額 100 万円		
事業費	実施時期	通年	
	予算現額	決算額	執行率
	1,045,900 円	1,045,900 円	100%
事業実績	(主な経費)		
	○助成金 1,045,900 円		
	事業目標	実績	達成率
近年の実績	助成件数 2 件	2 件	100%
	助成件数	第 11 期	第 12 期
近年の実績	助成件数	0 件	1 件
	助成件数	0 件	2 件

オ 再開発・共同建築等推進組織に対する助成

事業内容	住宅を含む再開発や共同建替えを検討する団体に対し、その活動費用の一部を助成します。		
	(助成内容)対象経費の 2 分の 1 を助成(3年間 申請可能) 助成上限額 年度内 50 万円		
事業費	実施時期	通年	
	予算現額	決算額	執行率
	1 千円	0円	0%
事業実績	(主な経費)		
	○科目存置として 1,000 円を計上		
	事業目標	実績	達成率
近年の実績	助成件数 -	0 件	-
	助成件数	第 11 期	第 12 期
近年の実績	助成件数	0 件	0 件
	助成件数	0 件	0 件

「マンション再生支援(イ～オ)」に関する評価と課題、今後の方向性

実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 マンション再生支援(ア・劣化診断調査費助成を除く)の申請は、前期まで低調に推移していましたが、第 13 期から特にイ・マンション再生方針検討助成の申請が増加に転じています。その要因としては、高経年マンションの再生に対する意識の高まりに加え、相談業務やまちづくりアドバイザー派遣を介して、各マンション管理組合に対し再生手法のアドバイスや勉強会を継続して実施してきたことが挙げられます。個々のマンションで快適な暮らしを営み、資産価値を維持するには、これらの支援策の活用が有効であることを広く周知していく必要があります。 【今後の方向性(課題解決策)】 区内には高経年マンションが多いことから、今後もマンション再生支援の申請件数は増加する見込みです。個々のマンションの実状に応じた支援策を提供するため、特に有効な「まちづくりアドバイザー派遣」を活用しメニューの周知を行います。 また、第 14 期においても、こうした高経年のマンションを対象にアウトリーチ型支援(訪問)を実施し、制度周知や申請サポートを行い、良好なマンションストックの形成と適切な手法によるマンション再生につなげます。
---------------------	--

1 マンション居住支援

(4)安全・安心整備支援

ア マンション安全・安心整備助成(拡充)

事業内容	マンションの安全・安心に資するさまざまな設備の設置・更新費用の一部を助成します。いずれもマンション防災計画を策定済みマンションが対象となり、未策定の場合は、防災アドバイザー派遣申請から 1 年以内に策定することを条件とします。					
		予定	助成上限額		予定	助成上限額
	①手すり設置または段差解消等	3棟	100 万円	②地震時管制運転装置	1基	30 万円
	③戸開走行保護装置	1基	30 万円	④3 装置を含むEV更新	4基	100 万円
	⑤防犯カメラ等の設置	2棟	30 万円	⑥防犯カメラ等の更新	4棟	20 万円
	⑦ 共用部分の改修工事(区補助事業)	1棟	1,000 万円	⑧ 容器等購入経費又は廃棄物集積所の区画の修繕費用(区受託事業)	10 棟	300 万円
※①～④:助成率 3 分の 1、⑤⑥:助成率 2 分の 1、⑦:助成率 10 分の 2、⑧助成率 10 分の 10 を助成						
実施時期		通年				
事業費	予算現額		決算額		執行率	
	16,323,000 円		5,678,000 円		34.8%	
	(主な経費)					
	①手すり設置・段差解消等 2,193,000 円		④EV更新 2,000,000 円			
⑤防犯カメラ等の設置 600,000 円		⑥防犯カメラ等の更新 885,000 円				
事業実績	事業目標予定				実績	進捗率
	① 手すり設置または段差解消等 3 棟				3 棟	100%
	④ ③装置を含むEV更新 4 基				2 基	50%
	⑤ 防犯カメラ等の設置 2 棟				2 棟	100%
	⑥ 防犯カメラ等の更新 4 棟				5 棟	125%
	⑧ 容器等購入経費又は廃棄物集積所の区画の修繕費用 10 棟				10 棟	100%
近年の実績		第 11 期		第 12 期	第 13 期	
	① 手すり設置または段差解消等	2 棟		0 棟	3 棟	
	② 地震時管制運転装置	0 基		0 棟	0 棟	
	③ 戸開走行保護装置	2 基		0 棟	0 棟	
	④ ③装置を含むEV更新	0 基		1 基	2 基	
	⑤ 防犯カメラ等の設置	0 棟		1 棟	2 棟	
	⑥ 防犯カメラ等の更新	2 棟		10 棟	5 棟	
	⑦ 共用部分の改修工事	－		－	0 棟	
	⑧ 容器等購入経費・廃棄物集積所の修繕費用	－		－	10 棟	

実績を踏まえた評価・課題 今後の方向性	【評価と課題】 本制度は、防災・防犯意識の高まりもあり、全体的に申請件数が増加しています。また、第 13 期から区からの補助・委託事業として「⑦共用部分の改修工事費」と「⑧容器等購入経費又は廃棄物集積所の区画の修繕費用」の助成を開始しました。⑦は多くの問い合わせがあったものの、実際の申請には結びつきませんでした。その要因として、工事費用が高額なために、マンション管理組合での合意形成が困難だったことが考えられます。一方で、⑧は一定の相談・助成実績があり、マンションの衛生的な生活環境の確保に寄与したといえます。 【今後の方向性(課題解決策)】 本制度は、マンション防災計画の策定を助成要件とすることで、マンション内の共助体制構築を後押ししています。今後も効果的な周知活動を展開し、居住者の安全・安心を支える基盤として、本事業を継続的に推進します。
--------------------------------	--

イ マンション防災計画等の策定支援

事業内容	マンションの防災計画策定を予定しているマンション管理組合に対して、防災アドバイザーを派遣し、そのマンションの実態に合った計画策定を支援します。また、防災計画策定に関連してマンション内の自主防災組織の立ち上げや防災訓練の実施についても支援します。			
	実施時期	通年		
事業費	予算現額	決算額		執行率
	2,487 千円	40,000 円		1.6%
	(主な経費) ○アドバイザーへの謝金 40,000 円			
事業実績	事業目標	実績		達成率
	派遣予定棟数 8 棟	3 棟(3 回)		37.5%
近年の実績	派遣棟数	第 11 期	第 12 期	第 13 期
		3 棟(7 回)	4 棟(6 回)	3 棟(3 回)
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 派遣したマンション管理組合には、防災アドバイザーが防災対策に関する具体的かつ実践的な助言を行いました。その内容は、防災計画の作成・見直しにとどまらず、備えるべき防災備蓄品や関連する助成制度の紹介など多岐に渡りました。また、申請者からは実体験や根拠に基づく具体的なアドバイスが大変に参考になったとの高い評価を得ています。一方で、事業実績は伸び悩んでおり、さらなる事業周知が必要となります。			
	【今後の方向性(課題解決策)】 近年の防災意識の高まりから、今後は派遣件数の増加が見込まれます。そのため、さまざまな機会を通じてマンション防災計画の重要性を周知するとともに、専門的な知見を持つアドバイザーを安定的に確保できるよう、関係団体と調整を図ります。			

ウ 防災用品等準備助成

事業内容	マンション防災計画の策定済みマンションを対象にエレベーター(EV)キャビネットの配付、AED の設置及び災害用資器材等の購入費を助成します。計画未策定の場合は、防災アドバイザー派遣の受け入れを条件とします。			
	① EV キャビネットの配付 エレベーターでの閉じ込めの際、救助までの間に必要となる物資を入れたキャビネットを配付します。 ② AED の設置 マンション内だけではなく近隣地域で利用できることを条件に、AED と収納ボックスを無償提供します。 ③ 災害用資器材等購入費助成 災害発生時に必要となる備蓄物資の購入費用を助成します。また、浸水対策機材を購入する場合には補助上限額が増額となります。 (分譲新規) 対象経費の 3 分の 2 を助成 (分譲更新・賃貸) 対象経費の 2 分の 1 を助成			
事業費	実施時期	通年		
	予算現額	決算額	執行率	
	15,161 千円	8,196,109 円	54.1%	
	(主な経費) ○EV キャビネット購入費 328,900 円 ○AED 設置・保守料 7,172,209 円 ○災害用資器材助成金 695,000 円			
事業実績	事業目標		実績	進捗率
	① EV キャビネットの配付予定 12 台		4 台	33.3%
	② AED の設置予定 12 台		6 台	50%
	③ 災害用資器材等 購入費助成予定	分譲新規 10 件	3 件	30%
		分譲更新 8 件	3 件	37.5%
		賃貸 2 件	0 件	0%
近年の実績		第 11 期	第 12 期	第 13 期
	① EVキャビネットの配付	4 台	3 台	4 台
	② AED の設置	4 台	4 台	6 台
	③ 災害用資器材等購入費助成	5 件	6 件	6 件
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 潜在的な需要はありながらも、各助成項目の事業実績は伸び悩んでいます。申請者のニーズに応えるための制度内容の充実やさらなる周知が今後の課題となっています。			
	【今後の方向性(課題解決策)】 震災対策の強化を目的として、EV 非常用備蓄キャビネットの配付台数の変更を検討します。また、本制度による支援はマンション内のみならず、地域防災にも寄与することから、マンション管理組合に対して積極的な申請を促します。			

産業まちづくり

～ 地域産業の振興に向けて ～

公益財団法人として行政の取組みを補完する立場から、これまで地域の産業を下支えする施策を展開してきました。

とりわけ区内で事業を営む元気な中小企業を応援する、背中を押してあげるような取組みが、地域に活気と賑わいをもたらすものとして注力してきました。

さらには社会経済情勢が大きく変化する中で、既存の枠組みに捉われず新たなビジネスの機会を求めてチャレンジする人など多様な人材が行き交うまちが千代田区であります。その地の利を活かせる場所が「ちよだプラットフォームスクウェア」であるとの認識のもと、千代田区や民間事業者と連携してさまざまな事業を展開していきます。

1 中小企業支援

(1)経営支援

ア マネジメント・サポートデスクの実施

事業内容	中小企業が抱える経営上のさまざまな相談を、窓口・電話・メールなどで受け付け、その相談内容に応じて公的機関が実施している助成制度や補助金などの支援策を紹介・活用することで、経営課題の解決に向けたサポートを実施します。また、各支援機関が実施するイベント・展示会等に参加し、最新の情報を収集し区内中小企業に発信します。							
	実施時期		通年(随時受付)					
事業費	予算現額		決算額		執行率			
	13,520 円		0 円		0.0%			
	(主な経費) ○消耗品費 11,000 円							
事業実績	事業目標		実績		達成率			
	相談件数 年間 180 件		119 件		66.1%			
	イベント等への参加 年間 5 件		9 件		180%			
近年の実績			第 11 期		第 12 期		第 13 期	
	相談件数		184 件		174 件		119 件	
	イベント等への参加(取材)		9 件		9 件		9 件	
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 相談の多くは創業に関するものが約半数を占めており、中小企業を支援する関係団体と連携して、相談者に寄り添った対応を心掛けています。 今後も CPS 内で協働する PS 社と連携を図りながら、ワンストップの相談体制を充実していく必要があります。							
	【今後の方向性(課題解決策)】 これまでの相談等で蓄積した知見や事業者が必要とする有益な情報などをフィードバックしていくことで、中小企業や創業を目指す起業家の支援につなげていきます。さらには、CPS を拠点に活動している神田スタートアップ・コモンズと連携して、マネジメント・サポートデスクの機能を強化します。							

イ 専門家派遣等によるサポート

事業内容	専門家派遣事業 (公財)東京都中小企業振興公社が実施 オーダーメイド型技術支援事業 (地独)東京都立産業技術研究センターが実施 依頼試験 (地独)東京都立産業技術研究センターが実施 上記事業を利用した場合、利用料金の一部を助成し、企業の負担軽減を図ります。			
	実施時期	通年		
事業費	予算現額	決算額	執行率	
	1,402,016 円	1,192,572 円	85.0%	
(主な経費) ○助成金 1,400,000 円				
事業実績	事業目標	実績	進捗率	
	専門家派遣 年間 10 社 80 回	14 社 104 回	140%/130%	
	オーダーメイド型技術支援 年間 3 社 30 回	0 社 0 回	0%/0%	
	依頼試験 年間 5 社 6 回	8 社 9 回	160%/150%	
近年の実績		第 11 期	第 12 期	第 13 期
	専門家派遣	11 社 79 回	13 社 91 回	14 社 104 回
	オーダーメイド型技術支援	0 社 0 回	0 社 0 回	0 社 0 回
	依頼試験	2 社 7 回	7 社 7 回	8 社 9 回
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 「専門家派遣」および「依頼試験」の実績は増加していますが、オーダーメイド型技術支援は実績がありませんでした。なお、オーダーメイド型技術支援は 2026 年 3 月末で終了となり、後継事業(受託技術支援)との整合を図る必要があります。			
	【今後の方向性(課題解決策)】 支援機関及びその他関係機関と連携し、引き続きウェブサイトや広報誌、SNS 等を活用して助成制度の周知を図り利用拡大に努めていきます。			

ウ 会議室の提供

事業内容	用途に応じた広さの会議室や打合せ場所の少ない中小企業の実態を踏まえ、ちよだプラットフォームスクウェア 4・5 階の会議室を貸し出します。				
	実施時期		通年		
事業費	予算現額		決算額		執行率
	3,928,000 円		3,828,000 円		97.5%
	(主な経費) ○会議室管理委託費 290,000×1.1×12 月=3,828,000 円 ○消耗品費 100,000 円				
事業実績	事業目標		実績		進捗率
	貸出時間 年間 3,120 時間		2,365 時間		75.8%
近年の実績	貸出時間		第 11 期	第 12 期	第 13 期
			10,645 時間	1,632 時間 (4階・会議室)	2,365 時間 (4階・会議室)
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 会議室の契約内容を第12期から変更したため、財団としての貸出時間(実績)は大幅に減少しましたが、会議室全体(4・5 階)の利用状況は改善しており、稼働率も上昇傾向にあります。 周辺の民間会議室との料金格差が民業圧迫とならないよう配慮しながら、公的機関の特性を活かした会議室利用の拡大を検討していく必要があります。				
	【今後の方向性(課題解決策)】 利用者ニーズの把握に努め、新たな利用者の拡大に向けてサービスの拡充を図ります。また、PS 社に運営管理を移管した 5 階会議室については、民間ならではの創意工夫を促し、より一層の利用向上を図っていきます。				

エ ビジネス法律相談

事業内容	自社に法務担当を置くことが困難な中小企業に対して、契約や労務など事業活動中に発生する法的対応が必要な事案に、弁護士が的確に助言します(予約制)。		
	実施時期	通年(随時受付)	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	382,000 円	133,000 円	34.8%
	(主な経費) ○弁護士謝礼 @19,000×20 回=380,000 円		
事業実績	事業目標	実績	進捗率
	相談件数 年間 20 回	5 社 7 回	35.0%
近年の実績	相談件数	第 11 期	第 12 期
		7 社 9 回	7 社 9 回
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 法務担当を置かない中小企業にとって有用な事業となりますが、近年の利用実績は横ばいであり、事業目標に達していません。		
	【今後の方向性(課題解決策)】 ホームページや X(エックス)、区広報紙等を活用した制度周知を行うとともに、マネジメント・サポートデスクと連携して利用実績の拡大につなげていきます。		

オ DX(ICT)導入・活用相談

事業内容	DX 導入に躊躇する中小企業に対し、比較的取組みやすい ICT の導入と活用に関する相談窓口を提供し、的確な対応ができる専門家によるアドバイスを行います。(予約制)			
	実施時期	通年(随時受付)		
事業費	予算現額	決算額		執行率
	300,420 円	0 円		0%
	(主な経費) ○専門家謝礼 @20,000×15 回=300,000 円			
事業実績				
	事業目標	実績	進捗率	
	相談件数 年間 15 回 (5 社×3 回)	0	0%	
近年の実績	相談件数	第 11 期	第 12 期	第 13 期
		-	0 社 0 回	0 社 0 回
実績を踏まえた評価・課題 今後の方向性	【評価と課題】			
	各種相談やフォローアップの機会を通じて、潜在的な需要があることは確認していますが、そうした需要を掘り起こす制度案内とサポート体制が十分ではありません。			
	【今後の方向性(課題解決策)】			
	他の事業とのパッケージ支援を検討するとともに、ホームページや X、区広報紙等を活用して事業を広く周知していきます。また、マネジメント・サポートデスクを活用した利用拡大に努めていきます。			
	さらに企業訪問時や各種交流会など、対面での機会を通じて、事業主に対して DX 導入の意義やその効果を説明し、制度の利用を促していきます。			

1 中小企業支援

(2)活性化成長支援

ア 千代田ビジネス大賞の実施

事業内容	中小企業の成長発展を支援する一環として、経営革新や経営基盤の強化、社会貢献に取り組んでいる企業の模範となる優れた中小企業を「千代田ビジネス大賞」で表彰します。これは、当該企業のさらなる発展のきっかけづくりも目的としています。			
	実施時期	募集開始 7月下旬～9月中旬 調査開始 9月中旬から随時実施、11月末迄 審査会 12月中旬 諮問委員会 1月中旬 表彰式 2月上旬 フォローアップ経営相談 3月～5月		
事業費	予算現額	決算額	執行率	
	10,609,030 円	8,035,697 円	79.0%	
	(主な経費) ○委託費 3,696,000 円			
事業実績	事業目標	実績	達成率	
	応募企業 年間 30 社	40 社	133.3%	
近年の実績		第 11 期	第 12 期	第 13 期
	応募企業	47 社	40 社	40 社
	表彰企業	13 社	10 社	10 社
	延べ表彰企業数	117 社	127 社	137 社
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 第 13 期は 40 社の応募がありました。業績が回復してきている企業、新規事業・事業転換がうまく進んでいる企業など、様々な業種からの応募がありました。 今期は大賞を受賞する企業を選出されませんでした。区内で長年、事業を営む地場産業の事業者が特別賞を受賞するなど、応募企業にとって励みになる受賞がありました。こうした地域に根付いた元気な中小企業を顕彰する仕組みとして広く認知してもらう必要があります。			
	【今後の方向性(課題解決策)】 受賞の有無は別として、ビジネス大賞へのエントリーを契機に事業者同士による異業種交流を促し、新たな事業展開や新事業の創出につながる機会の提供に努めていきます。			

イ インキュベーション施設活動支援

事業内容	ちよだプラットフォームスクウェアでは、平成 16 年 4 月からプラットフォームサービス株式会社がインキュベーション施設を運営しています。同社とは毎月定例会議を行い運営状況や施設の課題等を協議し、利用者に快適な空間を提供できるようにしています。			
	また、千代田区内のインキュベーション施設(SOHO 事業者・ベンチャー企業の支援施設)を運営する事業者と定期的な情報交換の場として「インキュベーション施設連絡協議会」を設け、入居者に対して有用な情報提供に努めていきます。			
	実施時期	PS 社との定例会議 月 1 回 インキュベーション施設連絡協議会 年 1 回(5 月頃)		
事業費	予算現額	決算額	執行率	
	11,520 円	0 円	0%	
	(主な経費) ○通信運搬費 11,520 円			
事業実績	【インキュベーション施設連絡協議会・参加団体(施設)】			
	・ちよだプラットフォームスクウェア ・ナレッジソサエティ ・クリエイターズオフィス イイブリッジ ・アイオス永田町 ・一番町インキュベーションセンター ・Start Up Side Tokyo ・四ツ谷レンタルオフィス ・秋葉原アントレサロン ・BRIDGE TO SUCCESS THE CROSSPOINT 富士見			
	事業目標	実績	達成率	
	定例会議 年 12 回	12 回	100%	
	連絡協議会 年 1 回	1 回	100%	
近年の実績		第 11 期	第 12 期	第 13 期
	定例会議	12 回	12 回	12 回
	連絡協議会	1 回	1 回	1 回
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 PS 社との定例会議では、施設内の管理状況や施設運営に関する課題等を情報共有し、適宜対応することができました。 インキュベーション施設連絡協議会においては、施設入居者に対する支援情報を確実に提供する仕組みが必要になります。			
	【今後の方向性(課題解決策)】 マネジメント・サポートデスクの機能を充実させ、入居者等の相談や課題を情報共有するなど、プラットフォームサービス社との連携強化を図ります。また、ビジネス起業塾との事業連携の可能性を探り、適宜、支援事業者を紹介するなど、起業につなげていきます。連絡協議会においては、有用な支援情報をタイムリーに届ける会議の運営方法を検討していきます。			

2 起業支援

ア ビジネス起業塾の開催

事業内容	起業を目指し、あるいは起業後間もない事業者が、起業に際して必要な知識を取得し、スムーズに起業できることを目的とした講座を実施します。 「一般起業家編」(1 講座全 9 回)を 2 回実施します。 専門講座は、各コースを修了し、千代田区特定創業支援事業の認定要件を有した修了生を対象に「財務」「マーケティング」を実践的に学ぶ講座を実施します。 修了者には、起業・事業展開につながるサポートとして、中小企業診断士による起業相談や起業後のフォローアップ相談を実施します。また、千代田区内で起業した修了者には、創業資金の一部を補助します。		
	実施時期	一般起業家編Ⅰ 6 月～8 月 定員 20 名 一般起業家編Ⅱ 8 月～10 月 定員 20 名 専門講座(財務・会計) 4 月～5 月 定員 10 名～20 名 専門講座(マーケティング) 4 月～5 月 定員 10 名～20 名	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	4,809,700 円	4,309,618 円	82.8%
	(主な経費) ○委託費(テキスト作成・講義など)2,794,000 円		
事業実績	事業目標		
	実績		達成率
	起業塾受講者 年間 40 名		40 名 100%
	特定創業支援認定対象者 年間 32 名		32 名 100%
近年の実績	第 11 期	第 12 期	第 13 期
	起業塾	60 名	60 名 40 名
	特定創業認定対象者	52 名	52 名 32 名
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 一般起業家編(Ⅰ・Ⅱ)は定員を上回る応募がありました。また、特定創業の認定要件を満たす受講生は 32 名、認定率は 8 割を超えました。 各講座とも経験豊富な講師のもと、受講生に寄り添った講義が行われました。一方、創業意欲がありながら起業に至らないケースが多いことから、修了生のフォロー体制を含め事業効果を高める取組みを検討する必要があります。		
	【今後の方向性(課題解決策)】 CPS のインキュベーション施設として特性を活かし、起業を目指す人をソフト・ハードの両面から支援していきます。また、CPS を拠点に活動している神田スタートアップ・コモンズと連携して、起業家が抱える課題を聴取するなど、実態把握に努め今後の方向性を協議します。		

3 地方との連携

ア ちよだ地方連携ネットワーク事業の支援

事業内容	ちよだプラットフォームスクウェアを拠点として展開される「ちよだ地方連携ネットワーク」事業を支援します。			
	実施時期	通年		
事業費	予算現額	決算額	執行率	
	200,000 円	0 円	0.0%	
	(主な経費) ○旅費交通費 200,000 円（自治体視察・勉強会）			
事業実績	事業目標	実績	達成率	
	広報支援 12 回	12 回	100%	
近年の実績		第 11 期	第 12 期	第 13 期
	広報支援	12 回	10 回	12 回
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 第 13 期は千代田区が発行する「広報千代田」の紙面に、地方独自の産物等を紹介する記事を掲載しました(15 市町)。また、プラットフォームサービス社が担う「ちよだ地方連携ネットワーク事業」を広報面でサポートするなど、事業周知に努めました。 千代田区と地方都市を取り巻く環境が様変わりするなかで、双方がウイン・ウインとなる連携のあり方を再構築する必要があります。			
	【今後の方向性(課題解決策)】 物販を中心にした事業展開から、人材交流・人材育成や環境保全・資源循環など、多様な分野での連携していく方策について、区と連携して民間事業者を交えて検討していきます。			

協働まちづくり

～ 理解と協力を礎とした魅力あるまちづくりに向けて ～

当財団では、日頃より区内で活動する様々な団体・グループに対して、その活動が地域に根差した取組みになるように支援しています。

「千代田まちづくりサポート」事業は、運営方法等を見直したうえで、今期より募集を再開しました。新たな審査基準のもと公開審査会にて審査した結果、応募のあった 14 グループすべてに対して助成を決定しましたが、うち 1 グループが助成を辞退したため、助成対象は 13 グループとなりました。

また、今後の運営方法や事業の方向性などを大所高所の見地から継続的に検討していく会議体として「千代田まちづくりサポート運営協議会」を新たに設置しました。

今後は、テーマ部門を活用して 3 年間の助成期間を満了した卒業グループを支える方を策を提案してもらうことで、今後の連携支援モデルの検討に繋げていきます。

当財団の広報については、【デジタルによる広報(ウェブサイト、SNS 等)】を基本とし、対象者(区民・事業者等)別により分かりやすく、適時、情報発信及び広報を行います。

今後は、引き続きウェブサイトや SNS を活用した情報発信を行っていくとともに、効果的な情報発信の方法について検討していきます。

また、新たに導入したチャットボットのフィードバックを行い、Q&A の分析等を検証しながら利用率向上と利用者の利便性向上を図っていきます。

1 まちづくり活動支援

ア 千代田まちづくりサポートの実施(独自)

事業内容	自主的なまちづくり活動を行っているグループに対して、その活動経費の一部を助成します。助成は「はじめて、一般、テーマ」3部門の中から応募でき、公平性とグループ相互の交流を図るため、審査会や活動成果発表会をすべて公開方式で実施しています。			
	在住・在勤などの枠を超えた多様なまちづくり活動の支援とともに、一般部門では同じ活動に対する助成の限度が3年となるため、その後の活動支援も行います。			
	実施時期	通年		
事業費	予算現額	決算額		執行率
	11,585 千円	8,839,228 円		76.3%
	(主な経費) ○支払助成金 2,645,191 円○協働運営委託費 4,400,000 円			
事業実績	事業目標		実績	達成率
	予定応募グループ数 10		14 グループ	140%
近年の実績	応募グループ数	第 11 期	第 12 期	第 13 期
		12 グループ	7 グループ	14 グループ
	※第 1 回から 24 回まで助成団体延べ 339 グループで、現在も活動しているグループ等は、「神田プロレス」をはじめ延べ30団体程度			
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】			
	今期は、まちづくりサポート関係者で構成する「千代田まちづくりサポート運営協議会」を立ち上げ、事業のさらなる発展に向けた検討を行いました。また、第 25 回では、助成グループ同士のコラボレーションが多く見られ、例年にない盛り上がりを生み出すことができました。一方、こうした取り組みを地域に定着させていくには、活動を支える仕組みづくりや、グループ間の連携をより促進するサポート体制が求められます。			
	【今後の方向性(課題解決策)】			
	今後は、さらなる事業活性化に向けて、第 25 回の成果と課題を検証し、その内容を運営協議会で共有したうえで、改善に向けた具体的な方向性を検討していきます。			

イ 区の花さくら再生基金の管理

事業内容	区の花さくらの周知活動や保全活動のための助成金となる基金を管理するとともに、さくらに関する普及啓発活動を実施している NPO やボランティア団体などに対して、その活動費を助成します。また、区内のさくら管理者に対して、その保全のためにかかる経費の一部を助成します。		
	実施時期	通年(寄付金・さくらサポーター会費の受け入れは随時) 4 月 活動募集 9 月 さくら基金運営委員会(助成先の決定) 3 月 区の花さくら連絡会	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	8,870,000 千円	7,647,107円	86.2%
	(主な経費) ○活動助成金 4,234,100 円		
事業実績	事業目標	実績	達成率
	予定助成団体 5 団体	5 団体	100%
	基金残高:22,290,931 円		
近年の実績	助成団体	第 11 期	第 12 期
		5 団体	5 団体
	※		
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】		
	さくら再生基金の管理者として助成団体に対して適切に助成金を交付しました。高樹齢のさくらの維持管理には莫大な費用がかかるため、区は街頭募金の他、QR コード決済による寄付金を募集しましたが目標額には至りませんでした。 【今後の方向性(課題解決策)】 来年以降の寄付金の集め方等については区とともに検討しています。 今後も区と緊密に連携しながら、基金管理者として適正な基金管理に努めていきます。		

2 情報の発信と交流

ア まちみらいニュースの発信

事業内容	まちみらい千代田の実施事業の紹介やまちみらい千代田に関連する団体のイベント情報をウェブサイトや SNS(X、Facebook)等のデジタル広報を活用して発信します。			
	実施時期	通年		
事業費	予算現額	決算額	執行率	
	1,941 千円	946,336 円	48.8%	
(主な経費) ○ウェブサイトカスタマイズ費 935,000 円				
事業実績	事業目標	実績	達成率	
	X ポスト数 100 件	276 件	276%	
	X フォロワー数 500 件	516 件	103%	
	Facebook フォロワー数 850 件	814 件	95.7%	
近年の実績		第 11 期	第 12 期	第 13 期
	X ポスト数	200	70	276
	X フォロワー数	441	464	516
	Facebook フォロワー数	802	809	814
実績を踏まえた評価・課題 今後の方向性	【評価と課題】 令和 7 年 4 月からデジタルによる広報(ウェブサイトや SNS 等)を基本とし、情報を届けたい対象者を絞り込み、適切なタイミングと方法で情報発信してきました。12 月には、財団ウェブサイト新たにチャットボットを導入して、利用者からの問い合わせに 24 時間 365 日対応できるようにし、ウェブサイトを通じた分かりやすい情報提供と利用者の利便性向上を図りました。			
	【今後の方向性(課題解決策)】 第 13 期に導入したチャットボットのフィードバックを行い、Q&A の分析結果等効果を検証しながら、徐々に Q&A を増やすなど範囲の拡大と精度の向上を図っていきます。			
	第14期はまちみらい千代田をイメージする愛着があって親しみやすいキャラクターを制作し、ウェブサイトや SNS、ノベルティ等様々な媒体で活用していくことで、財団全体の認知度向上を図ります。			
	また、SNS で区民や中小企業の方々に興味(関心)を持ってもらえるような情報発信を行うため、ショート動画や現場のリアルな写真(助成前・助成後)など、より効果的な情報発信手段を検討していきます。今後も、まちみらい千代田の事業を幅広く周知するために、千代田区と連携しながら、区の広報紙や SNS に掲載するとともに他団体の媒体も活用していきます。			

イ 事業報告・交流会の実施

事業内容	まちみらい千代田を支援する賛助会員をはじめ、財団関係者や区内関係企業等に対して、事業実施状況の報告を行うとともに、交流の場を設けることで、参加者同士が意見交換できる場(機会)を創出します。 このような機会を通して、まちみらい千代田に対する認知度の向上や財団事業に対する理解や共感を高め、より多くの区民や事業者からご支援いただけるよう取り組みます。			
	実施時期	令和 7 年 9 月 12 日(金)		
事業費	予算現額	決算額		執行率
	2,551 千円	1,367,915 円		53.6%
	(主な経費) ○事業報告会・交流会会議費 841,604 円 ○事業報告会・交流会会場賃借料 335,500 円 ○講演者出演料 150,000 円			
事業実績				
	事業目標	実績		達成率
	賛助会員数 100 社・名	68 名		68%
近年の実績	参加人数	第 11 期	第 12 期	第 13 期
		30 名	39 名	68 名
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 財団の賛助会員や千代田ビジネス大賞受賞企業など、財団事業に関係する事業者が一堂に会する交流会を如水会館で開催し、68 名が参加しました。 当日は事業報告や記念講演を実施して、賛助会員をはじめ多くの関係者、関係団体による異業種交流を図ることができました。			
	【今後の方向性(課題解決策)】 第 14 期も引き続き、賛助会員のほか、財団事業にかかわる多くの事業関係者および関係団体を含めた交流の場を提供することで、異業種交流のネットワークの輪をさらに広げ、まちみらい千代田を支える賛助会員はもとより、区内の活動人口の増加に努めていきます。			

ウ まちみらい千代田ウェブサイトの運用

事業内容	まちみらい千代田の情報を公開するとともに、実施事業周知のための有効なツールとしてウェブサイトを活用します。 また、ウェブサイトの利用増加の導線として、「X」や「Facebook」など、SNS との連携をより一層強化していきます。		
	実施時期	通年	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	1,995 千円	1,330,120 円	66.7%
	(主な経費) ○ウェブサイトの運用 1,134,100 円		
事業実績	事業目標	実績	達成率
	ユーザー数 10,000 人	32,693 人	326.9%
近年の実績	年間ユーザー数	第 11 期	第 12 期
		80,730 名 (令和 5 年 11 月 29 日現在)	20,634 名
			第 13 期
			2,693 名
	※第 11 期 12 月から統計方法が変更されました。		
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 毎月のユーザー数は、増加傾向にありますが、まだ十分ではありません。 新たなユーザーを獲得するため、掲載記事をユーザーの関心を引く内容に工夫していく必要があります。 【今後の方向性(課題解決策)】 財団事業の認知度向上のため、SNS【X・ Facebook)】と連携した記事の掲載を行うなど、多角的な広報活動をすることで、財団が情報発信のハブとなるように努めていきます。また、地域活動情報等をリアルタイムで掲載することにより、最新の情報をお届けできるよう努めます。		

管理運営

1 事務局人件費

事業内容	理事・評議員等役員報酬および事務局・固有職員 4 名の給与並びに区派遣職員 3 名の社会保険料事業主負担分等			
	実施時期	通年		
事業費	予算現額	決算額	執行率	
	60,365 千円	55,261,945 円	82.8%	
	(主な経費)			
	○役員報酬 15,649,408 円 ○給与手当 29,367,649 円 ○福利厚生費 10,223,123 円			
事業実績		事務局職員	常勤役員	
	令和 8 年 4 月	7 名(3 名)	1 名	
	()内は区派遣職員数			
近年の実績		第 11 期	第 12 期	第 13 期
	事務局職員	10 名(3 名)	8 名(3 名)	7 名(3 名)
	常勤役員	2 名(1 名)	2 名	2 名
	期首(6 月 1 日)現在の人数			
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】			
	事務局の職員体制は、固有職員 4 名、区派遣職員 3 名です。また、事務局長が令和 8 年 3 月末に退任したため、常勤役員が 1 名となりました。			
	令和 6 年に固有職員 1 名が退職し、その欠員補充及び増大する事務処理への対応として人材派遣職員を採用し、円滑な事業遂行に努めています。中長期的な視点で、財団の管理運営を担う人材育成が必要となります。			
	【今後の方向性(課題解決策)】			
	財団業務のアウトソーシングの可能性を探るとともに、財団の限られた財源とマンパワーを有効に活用し、効率的な管理運営を行います。			

2 事務局の維持管理

事業内容	事務局の維持管理に要する経費		
	実施時期	通年	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	57,542,442 千円	43,777,414 円	76.1%
	(主な経費)		
	○旅費、通信費、消耗品費、印刷製本費、賃借料、使用料、租税公課等 8,046,158 円 ○光熱水費等 11,963,256 円 ○機械警備、清掃、人材派遣等各種委託経費 14,914,116 円 ○公認会計士、税理士、法律顧問に係る諸謝金 5,852,000 円 ○減価償却費 611,172 円		
事業実績	事務局の維持管理に要する経費として、旅費、通信費、印刷製本費、賃借料、使用料、光熱水費や機械警備、清掃、人材派遣等委託経費を支出しました。		
実績を踏まえた評価・課題 今後の方向性	【評価と課題】 限られた財源のなか、各事業を適正に執行しました。今後、神田錦町三丁目南部東地区再開発計画の進展等により不動産貸付事業の収益減が見込まれることから、新たな自主財源の確保が喫緊の課題となります。 【今後の方向性(課題解決策)】 区政課題に対応する新規事業については、区からの補助金や委託事業等の財源を求めるなど、持続可能な執行体制を検討します。		

3 コミュニティ(祭礼文化)調査研究(新規)

事業内容	祭礼は単なるイベントではなく、地域の歴史や文化・精神を受け継ぐ重要な役割を担っており、町会等の「地縁型コミュニティ」の心のよりどころになっていることから、千代田区における祭礼文化の調査研究を行い、地域へフィードバックしていくことで地域の活性化に繋がっていきます。		
	実施時期	通年	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	6,000 千円	5,141,699 円	85.7%
	(主な経費) 委託料 2,326,500 円 報償費 2,000,200 円 人件費 669,375 円		
事業実績	令和 7 年 12 月 中間報告(ちよだプラットフォームスクウェア 参加者 55 名) 令和 8 年 3 月 最終報告シンポジウム(区民ホール 参加者 186 名)		
実績を踏まえた評価・課題、今後の方向性	【評価と課題】 13 期は、区と協働して祭礼文化を専門に研究している有識者を交えて、祭礼文化が持つ地域コミュニティの持続可能性や文化的価値、公益性などの観点から調査研究を行いました。 13 期の調査結果は、中間報告セミナー及び最終報告シンポジウムを開催し、地域に広く情報発信しましたが、さらなる深掘りが必要になります。 【今後の方向性(課題解決策)】 14 期は 13 期の調査結果を踏まえ、引き続き区と連携して、祭礼文化の継承に関する調査及び研究を行っていきます。		

理事会・評議員会・監査

定款第21条及び第42条に基づき開催した理事会及び評議員会では、次のとおり各議事について可決・承認を得ました。また定款第35条の規程に基づき次ページのとおりに実施された監査において、事業報告及び決算はいずれも適正と認められました。

(1)理事会

回	開催日	議案番号	件 名
1	令和7年7月23日(水)	第1号	公益財団法人まちみらい千代田 第12期事業報告(案)について
		第2号	公益財団法人まちみらい千代田 第12期決算(案)について
		第3号	公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について
2	令和7年12月5日(金)	報告	理事長、副理事長の職務執行状況報告
		報告	公益財団法人まちみらい千代田 第13期事業実施状況中間報告
		第4号	公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について
3	令和8年3月10日(火) (書面決議)	第5号	公益財団法人まちみらい千代田 役員等賠償責任保険契約の内容について
		第6号	公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について
		第7号	議決日について
4	令和8年4月1日(水) (書面決議)	第8号	公益財団法人まちみらい千代田 事務局長の任免について
		第9号	議決日について
5	令和8年4月22日(水)	報告	理事長の職務執行状況報告
		第10号	公益財団法人まちみらい千代田 第14期事業計画(案)について
		第11号	公益財団法人まちみらい千代田 第14期収支予算(案)について
		第12号	公益財団法人まちみらい千代田 第14期資金調達及び設備投資の見込みについて
		第13号	公益財団法人まちみらい千代田 職員の給与に関する規程の一部を改正する規程について
		第14号	公益財団法人まちみらい千代田 財務規程の一部を改正する規程について
		第15号	公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について
		承認	公益財団法人まちみらい千代田 特定費用準備資金の積立について

(2)評議員会

回	開催日	議案番号	件 名
1	令和7年8月22日(金)	第1号	公益財団法人まちみらい千代田 評議員の選任について
		第2号	公益財団法人まちみらい千代田 理事及び監事の選任について
		第3号	公益財団法人まちみらい千代田 第12期事業報告(案)について
		第4号	公益財団法人まちみらい千代田 第12期決算(案)について
2	令和7年12月15日(月)	第5号	公益財団法人まちみらい千代田 評議員会会長の互選について
		第6号	公益財団法人まちみらい千代田 評議員会副会長の互選について
		第7号	公益財団法人まちみらい千代田 評議員の選任について
		第8号	公益財団法人まちみらい千代田 理事の選任について
		報告	公益財団法人まちみらい千代田 第13期事業実施状況中間報告
3	令和8年5月22日(金)	第9号	公益財団法人まちみらい千代田 監事の選任について
		第10号	公益財団法人まちみらい千代田 第14期事業計画(案)について
		第11号	公益財団法人まちみらい千代田 第14期収支予算(案)について
		第12号	公益財団法人まちみらい千代田 第14期資金調達及び設備投資の見込みについて
		第13号	公益財団法人まちみらい千代田 役員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程について

(3)監査の実施(第 13 期事業に関するもの)

回	開催日	場所	件 名
1	令和8年1月27日(火)	ちよだ プラットフォーム クエア 401	公益財団法人まちみらい千代田 第13期事業中間報告
			公益財団法人まちみらい千代田 第13期中間時点での財務諸表
2	令和8年7月16日(木)	同上	公益財団法人まちみらい千代田 第13期事業報告
			公益財団法人まちみらい千代田 第13期決算